



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社コーセーホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 4922 URL <https://koseholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁澤 宏一  
 グループCOO  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 花倉 浩子 (TEL) 03-3273-1511  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	78,265	△0.9	1,030	△84.5	2,358	△54.3	426	△91.9
2025年12月期第1四半期	78,998	1.8	6,659	△15.7	5,157	△49.8	5,292	△23.8

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 495百万円(△80.3%) 2025年12月期第1四半期 2,520百万円(△73.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	7.48	—
2025年12月期第1四半期	92.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	387,464	299,853	72.1	4,913.11
2025年12月期	393,454	304,784	72.2	4,979.35

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 279,533百万円 2025年12月期 284,193百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	70.00	—	80.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年12月期(予想)の期末配当金の内訳は、普通配当70円00銭、記念配当10円00銭を予定しております。

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	350,000	6.0	20,000	8.3	21,000	△2.2	12,100	△19.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	60,592,541株	2025年12月期	60,592,541株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年12月期1Q	3,697,057株	2025年12月期	3,518,215株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年12月期1Q	57,089,083株	2025年12月期1Q	57,064,832株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 株式等の状況	4
(1) 株式の総数等	4
(2) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(3) 議決権の状況	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	12
(企業結合等関係)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(2026年1月1日から2026年3月31日まで)

セグメントの名称	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	63,510	80.4	63,919	81.7	409	0.6
コスメタリー事業	14,808	18.7	13,652	17.4	△1,156	△7.8
その他	679	0.9	693	0.9	14	2.1
売上高計	78,998	100.0	78,265	100.0	△732	△0.9

区分	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	6,659	8.4	1,030	1.3	△5,629	△84.5
経常利益	5,157	6.5	2,358	3.0	△2,799	△54.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,292	6.7	426	0.5	△4,866	△91.9

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日から2026年3月31日まで)における当社グループの連結売上高は、前年同期比0.9%減の78,265百万円(為替の影響を除くと前年同期比2.2%減)となりました。タルト事業およびコーセー事業における中国免税の売上が大きく伸長したものの、アルビオン事業およびコーセーコスメポート事業の減収を相殺するには至りませんでした。連結売上高に占める海外売上高の割合は38.5%となりました。

営業利益は、アルビオン事業、コーセーコスメポート事業およびタルト事業の減益が連結全体に影響し、1,030百万円(前年同期比84.5%減)となりました。経常利益は、営業減益に対し、円安に伴い為替差益が増加したことから、2,358百万円(同54.3%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期において固定資産売却益2,715百万円を計上した反動から、426百万円(同91.9%減)となりました。

化粧品事業は、ハイプレステージおよびプレステージともに増収となった結果、全体でも前年同期の実績を上回りました。

ハイプレステージでは、『アルビオン』が減収となったものの、『タルト』ならびに『コスメデコルテ』が売上を伸ばしました。

プレステージでは、主要ブランドである『ONE BY KOSÉ』の好調により、前年同期を上回る実績となりました。

同セグメントの営業利益は、減益となりました。主な要因は、アルビオン事業での減収による売上総利益の減少に加え、創立70周年を機に認知拡大のための大型プロモーションを実施したことによるものです。また、タルト事業においても、化粧品専門店「Sephora」における主力商品の新規展開に伴い、専用什器の設置や店頭プロモーションによるマーケティング費用が当四半期に集中して発生しました。

その結果、化粧品事業の売上高は63,919百万円(前年同期比0.6%増)となり、営業利益は2,334百万円(同61.1%減)となりました。

コスメタリー事業の売上高は、コーセーコスメポート事業における主力商品の堅調な需要を見込んだ前期第4四半期における先行出荷の影響を受け、前年同期の実績を下回りました。

同セグメントにおける営業利益については、コーセーコスメポート事業の減収および原価率上昇により売上総利益が減少したことに加え、コスメタリー事業全体において新商品のプロモーションに伴う販売費が増加し、減益となりました。

その結果、売上高は13,652百万円(前年同期比7.8%減)、営業利益は116百万円の赤字(前年同期は1,851百万円の黒字)となりました。

その他事業において、売上高は693百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は510百万円(同41.5%増)となりました。

## 地域別売上高(外部顧客に対する売上高)

	前第1四半期累計		当第1四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	51,765	65.5	48,159	61.5	△3,605	△7.0
アジア	9,770	12.4	11,368	14.5	1,598	16.4
北米	15,374	19.5	16,665	21.3	1,290	8.4
その他	2,087	2.6	2,072	2.6	△15	△0.8
売上高計	78,998	100.0	78,265	100.0	△732	△0.9

## &lt;日本&gt;

日本では、前年同期の実績を下回りました。コーセー事業の『ONE BY KOSÉ』が増収となったものの、アルビオン事業ならびにコーセーコスメポート事業の減収を相殺するには至りませんでした。

コーセー事業の『ONE BY KOSÉ』『コスメデコルテ』は、新製品の発売が貢献しました。

アルビオン事業における前年同期の主力ラインのリニューアルや『エレガンス』の価格改定前の駆け込み需要、ならびにコーセーコスメポート事業での前述の前期第4四半期の先行出荷があったことから、両事業においてその反動を受けました。

その結果、売上高は48,159百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

## &lt;アジア&gt;

地域全体では、二桁%の売上伸長となりました。コーセー事業の中国免税において、適正な在庫水準をモニタリングしつつ、春節に向けた品揃え強化や海南島の需要回復が業績を後押ししました。加えて、中国本土においても大型ECセールスの寄与などにより、売上を伸ばしました。ピューリ事業は、タイ国内の販売好調に加え、新規店舗の出店が貢献し、増収となりました。

その結果、売上高は11,368百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

## &lt;北米・その他&gt;

タルト事業は、TikTokでの販売好調に加え、主力商品の化粧品専門店「Sephora」への新規展開による出荷増が寄与し、増収となりました。店頭消化についても、「Amazon」などのECの売上伸長が寄与し、過去最高の実績を記録しました。

コーセー事業においては、前年同期に『雪肌精』の大型の受注があったため、当四半期は減収となりました。

その結果、北米地域の売上高は16,665百万円（前年同期比8.4%増）、その他(欧州など)の売上高は2,072百万円(同0.8%減)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月12日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

## 2. 株式等の状況

## (1) 株式の総数等

## ①株式の総数

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

## ②発行済株式

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2026年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2026年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	60,592,541	60,592,541	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数は100株で あります。
計	60,592,541	60,592,541	—	—

## (2) 発行済株式総数、資本金等の推移

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2026年1月1日～ 2026年3月31日	—	60,592	—	4,848	—	6,390

## (3) 議決権の状況

## ①発行済株式

2026年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,697,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 56,750,200	567,502	—
単元未満株式	普通株式 145,341	—	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	60,592,541	—	—
総株主の議決権	—	567,502	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,800株含まれております。  
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数38個が含まれております。

## ②自己株式等

2026年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社コーセーホールディングス	東京都中央区日本橋 三丁目6番2号	3,697,000	—	3,697,000	6.10
計	—	3,697,000	—	3,697,000	6.10

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	92,462	73,475
受取手形及び売掛金	56,075	49,352
商品及び製品	43,537	44,219
仕掛品	3,931	4,807
原材料及び貯蔵品	25,551	26,381
その他	7,529	9,541
貸倒引当金	△141	△355
流動資産合計	228,947	207,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,564	54,454
減価償却累計額	△31,002	△31,327
建物及び構築物（純額）	23,562	23,127
機械装置及び運搬具	22,998	22,987
減価償却累計額	△20,468	△20,632
機械装置及び運搬具（純額）	2,530	2,354
工具、器具及び備品	43,765	43,938
減価償却累計額	△37,910	△38,151
工具、器具及び備品（純額）	5,855	5,786
土地	18,527	18,526
リース資産	14,955	15,383
減価償却累計額	△5,891	△6,307
リース資産（純額）	9,063	9,076
建設仮勘定	22,262	37,642
有形固定資産合計	81,800	96,513
無形固定資産		
ソフトウェア	4,929	5,447
のれん	5,629	5,212
その他	14,933	13,837
無形固定資産合計	25,492	24,497
投資その他の資産		
投資有価証券	19,852	20,036
退職給付に係る資産	27,729	27,700
繰延税金資産	5,639	6,757
その他	4,665	5,180
貸倒引当金	△673	△643
投資その他の資産合計	57,213	59,030
固定資産合計	164,506	180,040
資産合計	393,454	387,464

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,204	10,552
電子記録債務	13,127	9,342
短期借入金	799	841
リース債務	1,465	1,680
未払金	15,563	12,705
未払費用	10,417	11,209
未払法人税等	2,641	2,648
未払消費税等	717	1,123
返金負債	6,510	7,099
その他	2,765	4,788
流動負債合計	63,212	61,990
固定負債		
リース債務	8,391	8,252
繰延税金負債	12,137	12,195
その他	4,928	5,172
固定負債合計	25,457	25,619
負債合計	88,669	87,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	206	680
利益剰余金	250,470	246,902
自己株式	△9,031	△10,652
株主資本合計	246,493	241,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,441	4,566
為替換算調整勘定	18,796	19,218
退職給付に係る調整累計額	14,461	13,970
その他の包括利益累計額合計	37,699	37,754
非支配株主持分	20,591	20,320
純資産合計	304,784	299,853
負債純資産合計	393,454	387,464

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	78,998	78,265
売上原価	22,383	23,655
売上総利益	56,615	54,609
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	5,950	7,666
販売促進費	11,260	12,295
運賃及び荷造費	4,829	5,149
給料及び手当	13,530	14,110
退職給付費用	△28	△359
法定福利費	2,167	2,229
減価償却費	1,407	1,927
その他	10,837	10,558
販売費及び一般管理費合計	49,955	53,578
営業利益	6,659	1,030
営業外収益		
受取利息	189	257
受取配当金	184	67
還付消費税等	0	27
為替差益	—	741
雑収入	84	291
営業外収益合計	459	1,384
営業外費用		
支払利息	15	13
貸倒引当金繰入額	16	—
投資事業組合運用損	23	33
為替差損	1,888	—
雑損失	18	11
営業外費用合計	1,961	57
経常利益	5,157	2,358
特別利益		
固定資産売却益	2,715	1
投資有価証券売却益	—	147
特別利益合計	2,715	149
特別損失		
固定資産処分損	208	231
減損損失	0	38
特別損失合計	209	269
税金等調整前四半期純利益	7,663	2,237
法人税、住民税及び事業税	2,845	2,499
法人税等調整額	△968	△729
法人税等合計	1,876	1,769
四半期純利益	5,786	467
非支配株主に帰属する四半期純利益	493	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,292	426

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	5,786	467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△534	131
為替換算調整勘定	△2,529	424
退職給付に係る調整額	△202	△528
その他の包括利益合計	△3,266	27
四半期包括利益	2,520	495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,076	483
非支配株主に係る四半期包括利益	444	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式349,300株の取得を行いました。

また、当社は、2025年3月28日開催の取締役会決議に基づき、当社の従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして自己株式172,110株を処分しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,620百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が10,652百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタ リー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	63,510	14,808	78,319	679	78,998	—	78,998
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	124	124	△124	—
計	63,510	14,808	78,319	803	79,122	△124	78,998
セグメント利益	5,995	1,851	7,846	360	8,207	△1,547	6,659

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	15
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,562

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
51,765	9,770	15,374	2,087	78,998

## II 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタ リ-事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	63,919	13,652	77,571	693	78,265	—	78,265
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	262	262	△262	—
計	63,919	13,652	77,571	956	78,528	△262	78,265
セグメント利益又は損失(△)	2,334	△116	2,218	510	2,728	△1,697	1,030

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△253
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,443

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
48,159	11,368	16,665	2,072	78,265

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	2,398百万円	2,414百万円
のれんの償却額	543	411

## (収益認識関係)

## 収益の分解情報

当社グループは、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つの報告セグメントに区分しており、当該報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象としていることから、これらの2事業で計上する収益を売上高として表示しております。また、地域別の収益は、顧客の所在地に基づき分解しております。これらの分解した収益とセグメント売上高との関連は、以下のとおりであります。

## I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	36,757	9,292	15,374	2,085	63,510
コスメタリー事業	14,329	477	—	2	14,808
報告セグメント計	51,086	9,769	15,374	2,087	78,319
その他(注)	626	0	—	—	626
顧客との契約から生じる収益	51,713	9,770	15,374	2,087	78,945
その他の収益	52	—	—	—	52
外部顧客への売上高	51,765	9,770	15,374	2,087	78,998

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	34,212	10,987	16,665	2,054	63,919
コスメタリー事業	13,257	376	—	17	13,652
報告セグメント計	47,470	11,364	16,665	2,072	77,571
その他(注)	625	4	—	—	629
顧客との契約から生じる収益	48,095	11,368	16,665	2,072	78,201
その他の収益	63	—	—	—	63
外部顧客への売上高	48,159	11,368	16,665	2,072	78,265

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

(会社分割による持株会社体制への移行)

当社は、2025年2月26日開催の取締役会決議に基づき、2026年1月1日付で会社分割により、当社が株式を保有する会社の事業活動に対する支配又は管理及びグループ運営に関する事業を除く一切の事業を株式会社コーセー（2026年1月1日付で商号を「株式会社コーセー分割準備会社」より変更しております。）に承継しました。また、これに伴い、当社は同日付で「株式会社コーセーホールディングス」に商号を変更し、持株会社体制へ移行しました。

1. 会社分割の概要

(1) 対象となった事業の内容

当社が株式を保有する会社の事業活動に対する支配又は管理及びグループ運営に関する事業を除く一切の事業

(2) 会社分割日

2026年1月1日

(3) 会社分割の法的形式

当社を吸収分割会社（以下、「分割会社」といいます。）とし、当社100%子会社である株式会社コーセーを吸収分割承継会社（以下、「承継会社」といいます。）とする吸収分割

(4) 分割後企業の名称

分割会社：株式会社コーセーホールディングス

承継会社：株式会社コーセー

(5) 会社分割の目的

当社は、コーポレートメッセージとして、「美しい知恵 人へ、地球へ。」を掲げ、“美の創造企業”として、世界中の一人ひとりのお客様に対し、多様な価値の提供に取り組んでまいりました。一方で、当社がおかれた事業環境は大きく変化しており、今後の国内市場における更なる業容拡大や本格的な海外進出のためには、従来のビジネスモデルに固執しない、多様な商品・サービスの提供を推進していく必要があります。

このような中、当社グループが中長期的な経営環境の変化に対応しながら更なる成長を図るため、グループの組織形態の在り方を検討することが必要と考え、主に以下の2つを目的に、純粋持株会社体制へ移行することといたしました。

① グループの競争力強化・企業価値向上

グループシナジーの創出を強化するとともに、持株会社傘下の企業の機能の連携統合、グループ全体の資金配分の戦略性や機動性をより一層高めることにより、グループ全体の競争力と企業価値の向上を図ります。

② グループガバナンスの強化

より多様なビジネスモデルをグローバルで展開していくため、グループ内の意思決定迅速化と経営資源の効率的な配分の実現を目指し、グループとしての全体最適化とガバナンスの強化を図ります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。